

令和元年度の森林環境譲与税の使途について

高知県安芸市農林課

1 森林環境譲与税の活用の効果

- (1) 意向調査の準備作業
- ・次年度に森林経営管理意向調査を行うための対象森林の選定と、そのエリア内の所有・管理者調べ（戸籍・相続人調査）を実施した。
- 所有者不明森林の賦存状況が明らかになるとともに特定につながり、境界不明確の課題解決や、新たな森林整備箇所の把握につながった。

2 森林環境譲与税の使途の内容

(1) 歳入 単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	28,309
運用益	0
計	28,309

(2) 歳出（使途内訳） 単位：千円

事業名	事業費		事業内容	事業実績
	総額	財源内訳		
		R1森林環境譲与税		
森林経営管理事業（臨時職員の雇用）	1,702	1,702	森林所有・管理者調べ（戸籍・相続人調査）、林地台帳システムに係る情報の整理、その他森林経営管理制度に関する全ての業務のサポート 他市町村への戸籍・相続人調査に伴う必要な事務費 次年度に、市内2地区での意向調査を実施する予定。意向調査の進捗により、今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備に備えた積立。また、森林関係者等連携のもと、「安芸市森林整備促進協議会」を発足させ、森林経営管理法に基づく森林整備や、譲与税を活用した林業振興策を協議する予定で、有効な施策については、令和3年度から譲与税を活用していく予定である。	臨時職員1名を雇用した。 11件の所有者不明森林が特定できた。
森林経営管理事業（印刷費、通信運搬費）	67	67		発送用・返信用の封筒印刷、調査依頼書の発送・返信の郵送。
森林環境整備基金積立金（森林整備、人材育成等）	26,540	26,540		
計	28,309	28,309		